

防災だより



福井県立福井南特別支援学校

福井市南居町82 (0776) 36-7631

第 29 号

令和5年3月3日

*学校と御家庭で協力しながら防災の取組をしていくために、年に3回「防災だより」を発行します。

土砂災害を想定した避難訓練を行いました



12月14日(水)に2年ぶりに土砂災害を想定した避難訓練を行いました。土砂災害の避難は、急いで避難をする火事や地震の避難とは異なり、大雨警報を受けたり、周囲の状況を確認したりする中で、避難の準備をすることができます。

今回の訓練では、大雨警報が続いているという設定で、避難に備えて自分の教室に戻り、荷物の準備をするところから訓練を行いました。小学部から高等部まで、多くのクラスが荷物の準備をして避難に備え、避難指示を待つことができました。土砂災害の避難は、山側から離れた2階に垂直避難することが重要で、本校では中学部や音楽室があるC棟2階に避難をします。児童生徒は自分で荷物をしっかり持ち、落ち着いて避難をすることができました。感染症対策で密を避けるために、避難場所での待機は行わず、避難場所の確認のみの避難訓練となりましたが、グラウンドへ避難する訓練とは違う避難の仕方を確認することができました。



防災アプリ「ふくい防災シグナル」 知っていますか？

近年、全国各地で起こる自然災害により、防災への意識がさらに高まっています。今回は便利なアプリを紹介します。「ふくい防災シグナル」は福井県内の気象警報の発表、河川の増水、避難情報の発令など災害に関する情報を集約し、プッシュ通知やホーム画面上のシグナル(色の变化)で知らせてくれます。



夜間を想定した避難訓練を行いました 【寄宿舍】

寄宿舍では、火災と地震の避難訓練を年間9回行っています。寄宿舍は放課後から翌朝登校までの時間帯に利用する宿泊を伴う場所です。そのため災害発生時間帯を夜間と想定して行っています。実施時期によって、屋外の明るさが異なりますが、訓練の際には必ず常備灯を持つようにしています。常備灯で足元を照らしながら、安全に避難できるよう心掛けています。



各部屋に常備灯が備え付けられています。



火災想定避難訓練では、常備灯を持ち口元にハンカチ等を当てて避難します。



地震想定避難訓練では頭を守りながら避難します。

R4年度 災害用備蓄品の紹介

夏に行われた教職員対象防災研修の反省をもとに、今年度は4種類の災害用備蓄品を購入しました。安全に避難し2次災害が起きないようにするために3WAYで使用できる①持ち出しバッグや、停電時のための②投光器や③パソコン・携帯電話用のケーブル、災害時の役割が一目瞭然の④差し込み式ゼッケンです。特に①持ち出しバッグは、従来のプラスチック製では避難する際にどこかにぶついたり落としたりすると破損してけがをする可能性があります。それを避けるためにも軽いビニール製でリュックにもキャスターバッグにもなり、安全に避難できるようになりました。今後も計画的にそろえ、また防災教育の一環として児童生徒に紹介していきたいです。



②



③



④



福井南特別支援学校



学校HPの「危機管理」の中に、カラー版の「防災だより」が掲載してありますので、ぜひご覧ください。